

会員各位

2014年7月  
日本化粧品技術者会東京支部

## 第35回・第36回「研究会」のご案内

本研究会は若手化粧品技術者を対象に、化粧品のモノ作りに関わるテーマを取り上げ、参加者と講師及び参加者同士で、お互いの意見交換・討論を通して技術向上と技術者間の交流を図っております。化粧品技術者としての基本技術を身につけるべく、これまでは「乳化」・「分散」・「洗浄」などの基本技術、さらに皮膚老化と関連化粧品の評価技術を取り上げてきております。

今回は、化粧品の製剤技術における最も重要な技術の一つである「乳化」にフォーカスを当て、基本から応用について学んでいきます。

第35回・第36回とも同じテーマについて開催します。ご都合の良い回にお申し込みください。複数の方が申し込みをしようとしている企業の方は、他社の方との交流も意図している本会の趣旨をご理解いただき、できる限り、一つの会に集中しないようお願いいたします。

また、参加者自身が意見交換・討論に参画いただくために、応募の際には必ず「意見交換したい内容」についてコメントを記載いただきますようお願いいたします。

本研究会は35歳未満の若手・中堅の方を対象にしておりますので、あらかじめご了承ください。（対象外の正会員の方は是非、若手の代理者を参加させていただきますようご案内申し上げます）

### 記

1. 日時： 第35回； 9月 1日(月) 13:30～17:30  
第36回； 12月16日(火) 13:30～17:30  
\*いずれも受付開始 13:00～
2. 場所： ゆうぼうと（五反田） 7F-福寿 （会場図別添）  
東京都品川区西五反田 8-4-13 TEL;03-3494-6339
3. メインテーマ：『乳化について学ぶ』

#### 4. プログラム

	講師	時間
受付		13:00-
開会の挨拶とガイダンス	知久部会長	13:30-13:35
テーマⅠ やさしい乳化の基礎: 『たかが乳化、されど乳化』	坂本一民氏 千葉科学大学薬学部生命薬科学科教授 千葉科学大学大学院薬学研究科 薬科学専攻修士課程教授	13:35-14:50 (質疑:15分)
休憩		14:50-15:00
テーマⅡ 『液晶・ゲルを応用した乳 化および化粧品機能賦与 への応用』	鈴木敏幸氏 (株)コスモステクニカルセンター 東京理科大学客員教授	15:00-16:15 (質疑:15分)
コスメ倶楽部紹介・案内	コスメ倶楽部世話人	16:15-16:20
休憩		16:20-16:30
グループ討論		16:30-17:30
交流討論会		17:30-18:30

\*グループ討論:参加者を5~6グループに分け討論(講師・部会委員と)

\* グループ討論終了後、同会場にて全員の交流討論会を行います。

<各テーマの講演概要および講師プロフィール>

テーマⅠ : やさしい乳化の基礎:『たかが乳化、されど乳化』 坂本一民氏

乳化とは混ざらない液体を混ぜて分散系とする操作であり、本来平衡状態では相分離してしまう混合系を、目的とする用途に応じた分散状態と安定性のあるものにするためのプロセスであり、得られた液/液分散系が、用途に応じた機能を持つ乳化物である。そのため、乳化プロセスにおいて界面エネルギーを減少させ分散を容易にするための界面活性剤(乳化剤)や、分散粒子の凝集・合一を抑制させるための粘度調整剤などが実践的に用いられる。化粧品分野では基本的に3年間の品質保証が求められ、開発当事者はしばしば、作りやすく・安定で・使い心地の良いものという、相互の要求特性の遡及が乳化の本質に相反するような課題への挑戦を求められる。本講演では「たかが乳化、されど乳化」という観点から、乳化について考えてみたい。

<プロフィール>

- ◎ 千葉科学大学大学院薬学研究教授、東京理科大学客員教授。
- ◎ 1971年東北大学大学院工学研究科応用科学専攻修了。味の素(株)アミノサイエンス研究所応用研究部長、(株)資生堂特別研究顧問、成和化成(株)取締役研究部長を経て2010年より現職。
- ◎ 受賞:日本油化学会賞、日本化学会フェロー
- ◎ 連絡先:〒288-0025 千葉県銚子市汐見町5-8

テーマⅡ：『液晶・ゲルを応用した乳化および化粧品機能賦与への応用』鈴木敏幸氏

液晶や $\alpha$ ゲルなどの分子集合体はエマルションの安定化や微細なエマルションの調製に用いられている。また化粧品機能賦与という観点からは、角層細胞間脂質機能補填による保湿能発揮、水で洗い流せるクレンジングの親油性/親水性両立のための基本要素として応用されている。

本セミナーでは「乳化と液晶・ゲルの関わりのかきかけ」「微細エマルション調製への応用」および「化粧品の訴求設定/機能発現のための応用技術」について、素材の選択と性能制御の具体的な方法も含め解説を行う。

<プロフィール>

- ◎ ニッコールグループ(株)コスモステクニカルセンター 執行役員研究戦略室室長、東京理科大学客員教授。
- ◎ 1976年日本大学大学院修了。花王(株)パーソナルヘルスケア研究所長、エスエス製薬(株)取締役を経て、2011年より現職。
- ◎ 受賞:日本化学会化学技術賞、国際化粧品技術者会(パリ大会)最優秀論文賞、国際化粧品技術者会(横浜大会)優秀論文賞、米国化粧品技術者会最優秀論文賞など。
- ◎ 連絡先:〒174-0046 板橋区蓮根 3-24-3

5. 申込方法

1) 別紙の「参加申込書」にて、事務局までFAXしてください。

2) 申込者対象

- ・ 研究・製造・商品開発など実務に携わっている35歳未満の会員が対象です。
- ・ 準会員の方は、ご本人は参加できますが、代理者はたてられません。
- ・ 35歳以上の正会員の方は代理の方(35歳未満)の参加が可能です。

3) 募集人員:第35回・第36回とも各50名

4) 参加費:3,000円(当日徴収、領収書発行)

5) 申込締切日:8月25日(月)(第36回の締切を延長しております。)

ただし、定員になり次第締切り(先着申込順)とさせていただきますので、お早めに申込下さい。参加証は、折り返しFAXにてご連絡いたします。

\*定員になった場合はホームページ上でお知らせします、申込の際はご確認下さい。

ホームページ: <http://www.sccj-ifsec.com/>

※ 申込は第35回・第36回のいずれかを選択下さい(重複の申込はできません)

申込の際は、「研究会」の趣旨をご理解頂き、必ず「当日意見交換したい内容」について記載下さい(記載がない場合は、原則として参加をお断りさせていただきます)

※ お申込後にご都合が悪くなった場合は、早めに事務局までご連絡下さい。

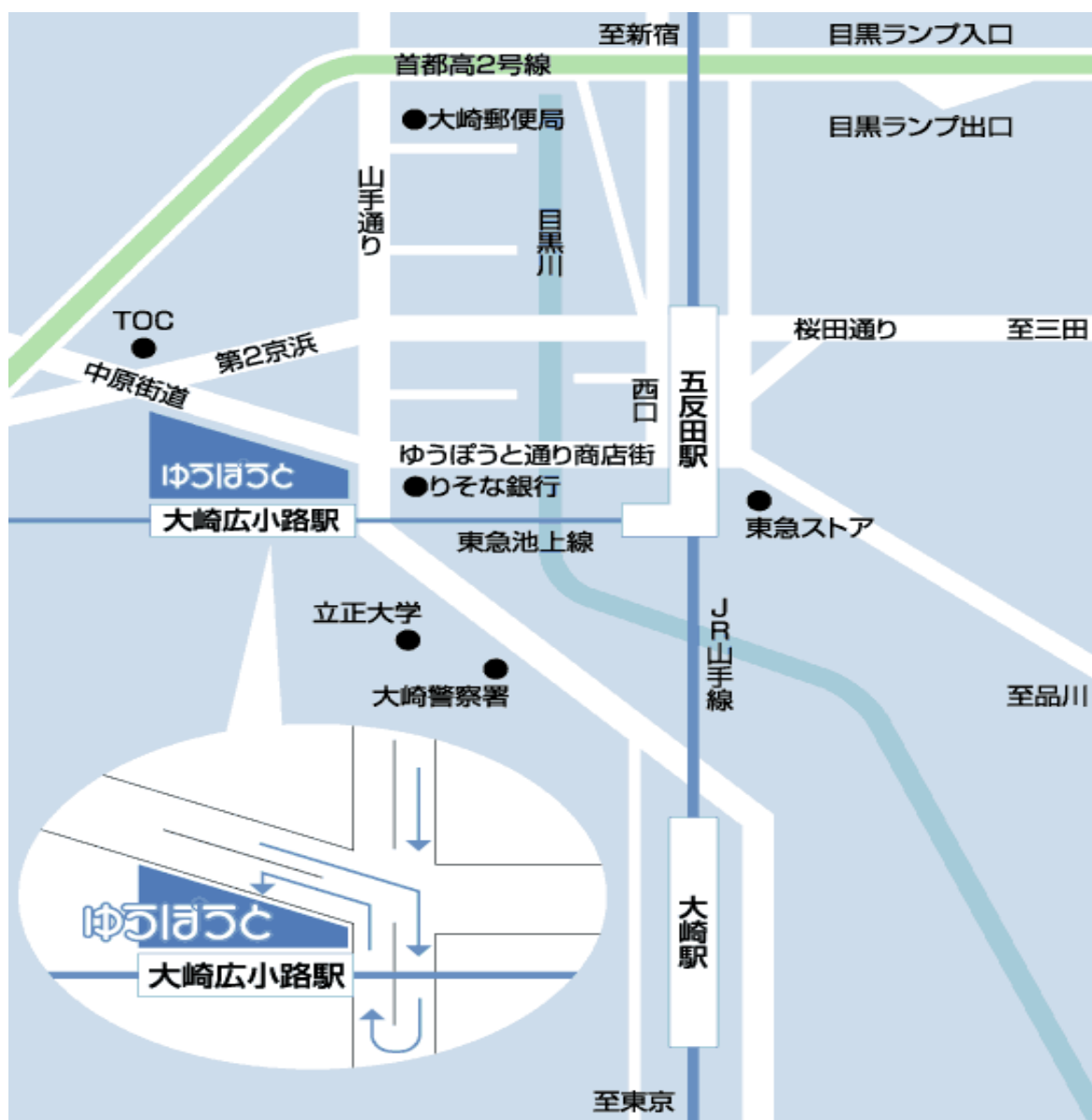
※ 「お問合せ先」 日本化粧品技術者会事務局(東京支部)

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-11-1

アイオス五反田駅前7F-705

TEL:03-6431-9196 FAX:03-6431-9126

<会場略図>



- 東急池上線「大崎広小路駅」 徒歩約 1 分
- 都営地下鉄・JR「五反田駅」 西口徒歩約 5 分
- JR「大崎駅」西口 徒歩約 7 分

日本化粧品技術者会事務局(東京支部) 行  
(FAX:03-6431-9126)

第35回「研究会」(9/1) 参加申込書  
第36回「研究会」(12/16) 参加申込書

\*(第35回・第36回のいずれかを二重線で消して下さい)

参加者 氏名	該当に○ : 正会員 正会員の代理 準会員
	参加者氏名
	代理参加の場合、どなた(正会員)の代理か氏名を記載下さい 正会員名( )
会社名	
所属部門	
連絡先	TEL: FAX:

◇ グループ討論:ご希望のテーマを選び、番号を○で囲んでください。

	第35回「研究会」		第36回「研究会」
1	乳化の基礎	1	乳化の基礎
2	乳化の応用	2	乳化の応用

※ ただし、グループ人数調整のため、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

- 当日意見交換したい内容や日頃疑問に思っていることなどを必ず下記に記載してください。  
(200~400字程度)別紙添付も可 \*記載がない場合は受付できません

【「研究会」当日この参加証を持参下さい】 (事務局にて記載後 FAX でお送りいたします。)

第35回(9/1) 第36回(12/16) 「研究会」 『参加証』

第 回 No.

※受付開始時間: 13:00~ ※参加費3,000円(当日徴収、領収書発行)